

広域連携SDGsモデル事業

自律的好循環とローカルSDGs推進のための コンソーシアム構築事業

～むしろこれから 鹿島・太良～

佐賀県鹿島市



佐賀県太良町



モデル事業で目指すもの

様々な主体が協力し合い、豊かな自然資源を持続可能な形で活用することで、経済・社会への好循環を生み出し、自然環境を維持・回復していくローカルSDGsを実現する。



太良町「森林保全」



鹿島市「有明海保全」

鹿島市と太良町・地元企業の
新たな繋がり

かしたらコンソーシアム（仮）

事業の実装

企業・自治体の新たな繋がりをサポート



パートナーズ（企業）

- ・自治体と共同で行う環境保全活動
- ・地域資源を活用した商品ブランドの共創
- ・新規事業の実証・社会実験を実施

広域連携SDGsモデル事業の効果 コンソーシアムから環境に資する事業の創出

経済⇔環境にかか事業

DXを活用した脱炭素の取組

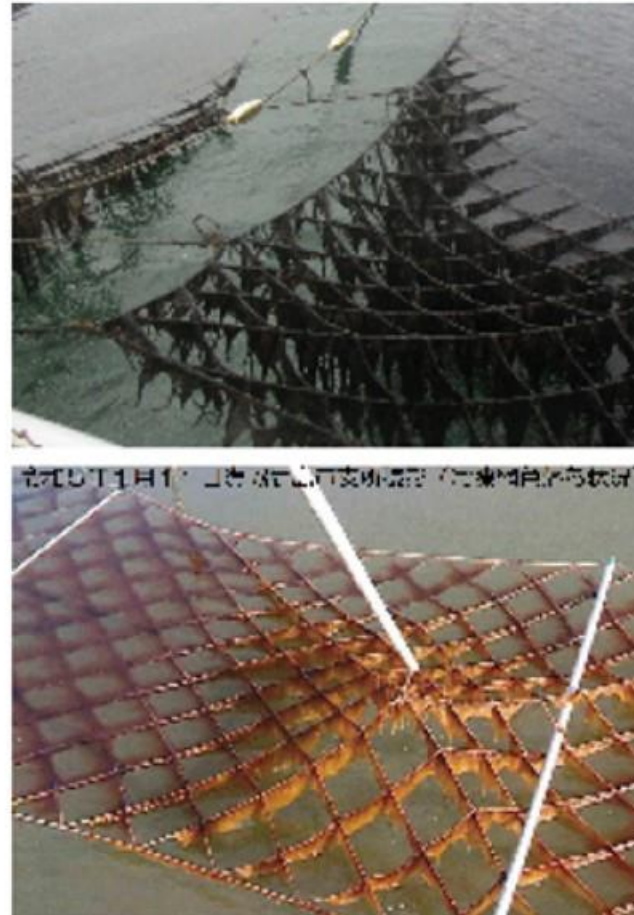
- ドローンやLEDを活用した水産業の水揚げ量を増やす施策の試行（右図）
- 森林の環境保全から稼ぐ仕組みづくりJクレジットの導入

期待される効果

- コスト削減・脱炭素
- 域内でのカーボンオフセット事業の展開

KPI

- 水産業のエネルギーコスト削減（現在から20%減）
- 太良町有林クレジットの販売量（0t-CO2⇒500t-CO2）



ドローンを活用した赤潮発生予兆による海苔の色落ちの対策

これまでの工程

不定期に沖合に出て赤潮を確認



赤潮が出た場合、海苔網を上げるなどの対策を講じる



海苔の水揚げ量の現状維持

- ★ドローンやAIを活用し、赤潮発生予測⇒コスト削減・脱炭素
- ★海苔の水揚げ量の増加

広域連携 S D G s モデル事業の効果 コンソーシアムから環境に資する事業の創出

経済⇄社会 にかか事業

観光振興の取組

- 道の駅連携による観光・広域流通の確立
⇒ 6次産品の生産、ツアーの造成
- 大手出版社と連携した地方創生の取組
⇒ 若い世代をターゲットとした観光ブランディング

期待される効果

- 交流人口・関係人口の増加
- ふるさと納税の増加

KPI

- 道の駅連携で販売を行う6次産品の新規開発数
(10種⇒20種)
- 両市町の観光協会のHPへのアクセス数



カモの食害で活用したLEDを使った道の駅連携での
ナイトツアーの開催
⇒食害の負のイメージをプラスに

広域連携SDGsモデル事業の効果 コンソーシアムから環境に資する事業の創出

環境⇄社会 にかか事業

廃棄物のリサイクル

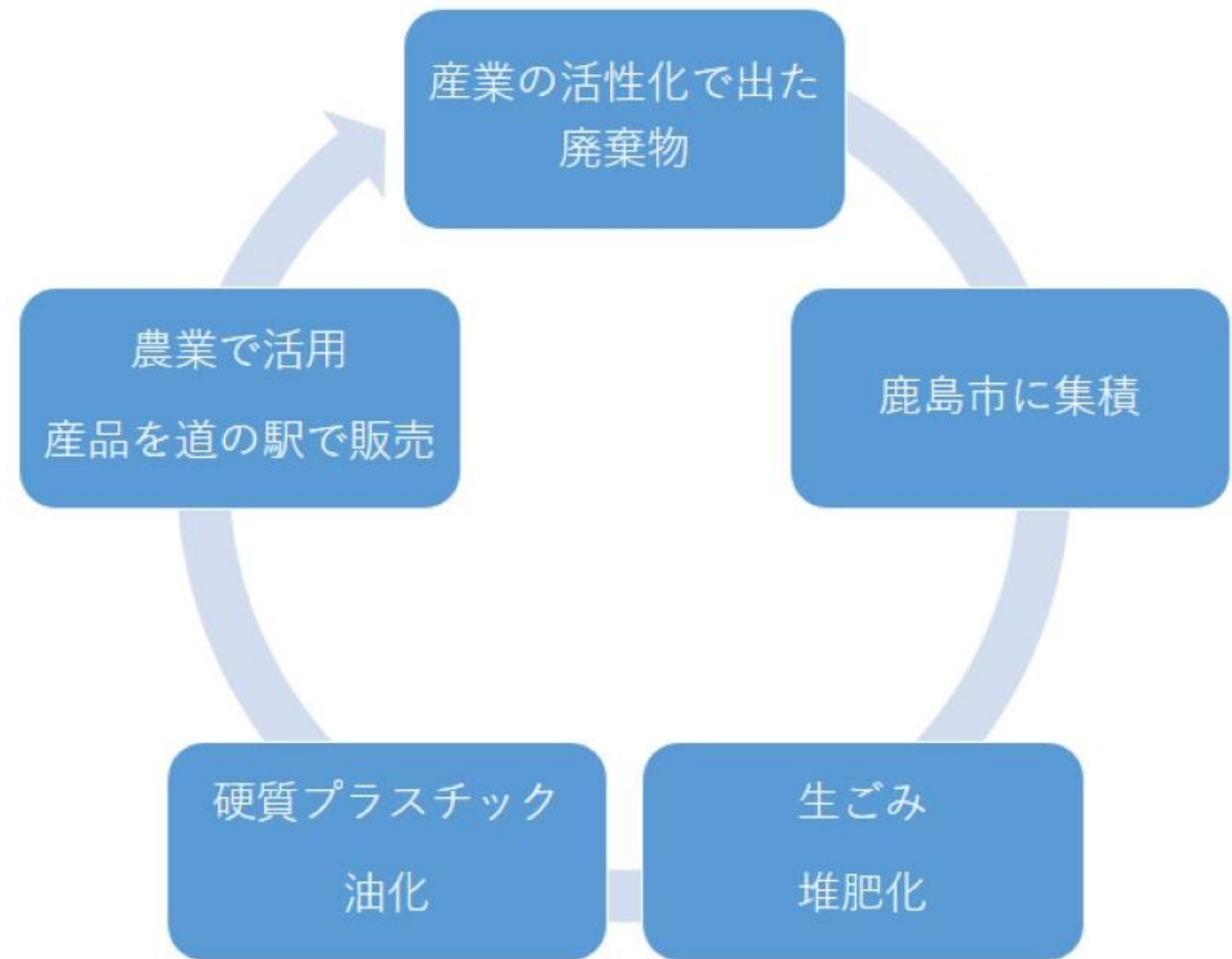
- 広域的なりサイクルの実施
- 生ごみ堆肥化

期待される効果

- 事業者・市民・町民の行動変容
- ごみの減量によるコスト削減・CO2削減

KPI

- 生ごみ堆肥化の数量
- 硬質プラスチックリサイクルの量



広域連携SDGsモデル事業の効果 コンソーシアムから環境に資する事業の創出

実施内容

経済⇄社会 にかかる事業

事業者へのSDGsの普及啓発

- SDGs取組診断・分析・評価
- ワークショップや講演会の開催

期待される効果

- SDGsの定着
- SDGsに取組事業者の増加

KPI

- SDGsパートナー企業の増加
(85団体⇒100団体)
- 今回のモデルで生まれたローカルSDGsの件数
(0件⇒10件)

経済⇄環境 にかかる事業

市民と連携した事業の取組

- ゼロカーボンアクションの実施
- 地域課題を考える中高生とのワークショップの開催

期待される効果

- 市民・町民の行動変容
- 地方創生への若い世代の参画

KPI

- ゼロカーボンアクションでのCO2削減量
- ワークショップへの参加校数

環境⇄社会 にかかる事業

生物多様性と脱炭素の両面からの取組

- ランドスケープアプローチによる保全区域と再エネ導入の適地選定

期待される効果

- 生物多様性保全
- 地域のレジリエンスの向上
- 景観の維持

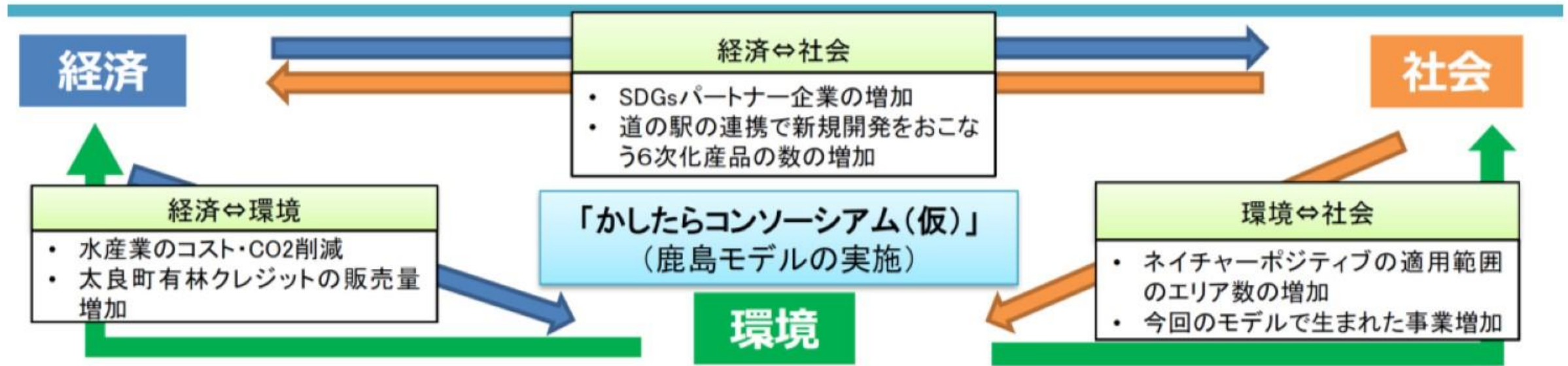
KPI

- ネイチャーポジティブの適用範囲のエリア数
(0エリア⇒8エリア)

経済・社会・環境の各側面の相乗効果

【経済⇔社会】SDGsパートナー企業の増加（100団体）・6次化産品の数（20種）

本事業において、鹿島市-太良町にてどれだけの企業を巻き込めて、事業が生まれたかを指標とする。また同市が持つ「ラムサールブランド認証品制度」を活用し、道の駅連携で地域産品をブランディングし、売り上げの一部が有明海や多良岳の環境保全に寄付されるようにする。この進捗管理を6次化産品の数で行う。



【経済⇔環境】水産業のエネルギーコスト削減（20%減）

太良町有林クレジットの販売量(t-CO2)500t-CO2
産業集約化とサプライチェーンの見直しによるエネルギーコスト削減と、太良町の森林活用による脱炭素への貢献を図る。

【環境⇔社会】ネイチャーポジティブの適用範囲（8エリア）

モデルから生まれた事業増加（10件）
ローカルSDGsの推進は地域の自然資源の活用からなるものであるため、ネイチャーポジティブのエリアと環境に資する事業の増加数を指標として設定し、進捗管理を行う。